

令和2年度

滋賀県低炭素社会づくり賞

(事業者行動計画書部門)

滋賀県低炭素社会づくり賞(事業者行動計画書部門)とは・・・

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例に基づく事業者行動計画書制度において、事業者行動計画書および報告書を提出した者のうち、事業活動における自社の温室効果ガス排出量の削減に関して他の事業者の模範となる特に優れた取組を行っている事業者を表彰するものです。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

受賞者紹介

立命館大学びわこ・くさつキャンパス(草津市)

■空調熱源改修による省CO₂

キャンパス内建物の空調に使用する中央熱源設備について、従来のガス吸収式冷温水機3台を空冷ヒートポンプチラー10台とガス吸収式冷温水機2台に更新。CO₂排出量で30%以上の削減を達成。

また、高効率の空冷ヒートポンプチラーをベース使用するとともに、BEMS(ビル・エネルギー・マネジメント・システム)の導入やエネルギー管理体制の改善等も実施。運用後の検証も継続的に行うことによりエネルギーの効率的な利用に取り組んでいる。

【CO₂削減効果:1,023t-CO₂/年】



■空調用熱源機の冷却水温度設定値の見直しによる効率改善

ガス吸収冷温水機は冷却水温度が低いほどCOP(効率指標)が高くなるが、冷却水温度を下げるには冷却ファンのエネルギー消費量が増加する。今回、COP上昇による削減効果と冷却ファンによる消費量の増加について検証し、さらに冷却水温度を4℃低下させることで、ガス消費量を機器単体で11%削減した。

【CO₂削減効果:19t-CO₂/年】



■立命館地球環境委員会等を通じた啓発活動

「立命館サステナビリティ学研究センター」と共催で開催している「立命館地球環境委員会シンポジウム」において「サステナブルキャンパス・アイデア・コンテスト」を開催。

毎年、立命館学園の学生・生徒・児童から環境啓発に関するアイデアを募集し、優れたアイデアの具現化を支援。これまでマイボトルの配布や省エネの掲示を行った。

また、学生の主体的な取組として「Sustainable Week」を毎年開催。ディスカッションや体験イベントなどを通じ、SDGsの理解促進や低炭素社会づくりに関する啓発を行っている。



トヨタ紡織滋賀株式会社(甲賀市)

■毎年コンセプトを掲げた全員参加での環境道場の運営

環境道場から広げる投資「0」知恵と工夫で全員参加の省エネ活動を実施。「相互啓発で体で覚える」をコンセプトにした「エア漏れを発見・対応・修理する訓練」では、修理方法まで訓練するとともに、エア漏れ対応の活動を職場毎に評価し社内表彰も行い、意識向上を図っている。「考え自発性を養う訓練」をコンセプトとした取組では、自職場でどんな省エネ活動ができるかを宣言し、自発的な省エネ改善を進めている。

【CO₂削減効果:4t-CO₂/年】



■「1」分に拘った生産立上げ時間短縮による省エネ

各号機ごとの日々の生産開始時間を1分単位で明確にした上で、実績の管理レベル向上をさせています。いかに早く日々の生産を開始するかをバックキャストで考働し、又ビジュアルを活用した標準3票による生産立上げ時間の問題解析、日常点検、生産立上げのやり方改善等を進め、生産に含まれない時間をミニマムにすることで、ムダエネルギーの削減につなげた。

【CO₂削減効果:30t-CO₂/年】



■バンパ塗装工程の塗布条件・作業改善による生産効率の向上

揮発の早いオリジナルシンナーに改良し、手作業で行っている塗装工程において、最適塗布条件確立に向けたトライを段階的に実施することで、クリア工程を2人から1人作業へ変更。更にベース工程の塗布作業改善を実施し、人は増やさずに工程全体としての生産性を大きく向上させ、設備稼働時間の大幅短縮につながった。

【CO₂削減効果:253t-CO₂/年】



■非稼働時のブレーカーOFF活動

ブレーカーOFF可能な設備を一覧化し、各設備にブレーカーの管理者を明示。生産終了時等の非稼働時間帯において、ブレーカーをOFFすることで、ムダな待機電力を削減。事務局と保全担当で定期的な実施状況の点検も行っている。

【CO₂削減効果:25t-CO₂/年】



「しがCO₂ネットゼロ」ムーブメント」 キックオフを宣言

滋賀県では、令和2年1月に2050年までに滋賀県内の二酸化炭素排出量を実質ゼロを目指し、取組を開始することを宣言しました。県内での機運を高めて取り組んでいくために、賛同者の募集も行っています。ぜひ、この取組にご賛同をお願いいたします。

滋賀県ホームページ「しがネット受付サービス」でもご賛同いただけます。右記QRコードよりアクセスできます。



問い合わせ先

滋賀県琵琶湖環境部温暖化対策課

電話 077-528-3493

メールアドレス ondan@pref.shiga.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/>